

《指導案の項立て》

第○学年○組 道徳学習指導案

平成 28 年○月○日 () ○校時 ○名

指導者 ○○ ○○

- 1 主題名 ○授業者以外の教師や授業参観者が、授業の内容を把握できるような記述にする。
○内容項目 内容項目の番号も書く
- 2 教材名 「教材名」 (読み物資料を使用する場合は、出典を必ず明記する。)
- 3 主題設定の理由【指導観】
《ねらいとする道徳的価値について》【価値観】
ねらいとする道徳的価値について、学習指導要領に基づいた明確な考えを記述する。
《児童の実態について》【児童観】 ・ねらいとする道徳的価値を視点とした児童の実態を示す。
① 各教科等での指導、②教育課程外の指導 ⇒これまでの、ねらいとする道徳的価値に関わる指導をどのように行ってきたかを示す。
③ 児童の様子⇒価値観を基にこれまでの指導を振り返り、児童のよさや課題を考察し、考えさせたいこと、学ばせたいことや、本時における補充、深化、統合の方向性を示す。
《教材について》【教材観】
授業者の明確な価値観・児童観をもとに、教材の活用の仕方を明らかにして記述する。
- 4 学校課題との関連
自分との関わりで考えることができるようにするための手立てとして、取り入れたことを記入する。
《気づく》 主題に対する子どもの興味・関心を高め、ねらいとする道徳的価値の自覚を深めることに向けて動機づけを図ったり、課題意識をもたせたりするために取り入れた手立てについて。
《深める》《見つめる》
ねらいとする道徳的価値の自覚を深める学習の中心となる段階なので、「道徳的価値について理解する」学習、「自分との関わりで道徳的価値をとらえる」学習、「道徳的価値に関わる課題に気づく」学習などに関する指導方法の工夫について。
《つなぐ》 ねらいとする道徳的価値に対する考えや思いをまとめたり温めたりして今後の発展につながるような手立てについて。
- 5 本時の指導
 - (1) ねらい 本時のねらいとする道徳的価値と、本時の指導の重点が、道徳的判断力・道徳的心情・道徳的实践意欲と態度のいずれの側面にあるのか、道徳性の様相を明確にして記述する。
 - (2) 展開 発問構成のワークシートをもとに作成する。
 - (3) 準備物
 - (4) 人権教育の視点 本時のねらいや学習内容、指導方法等が、人権教育において「育てたい資質・能力」等とどのように関連しているかを述べる。
 - (5) 生かしたい児童 ねらいとする道徳的価値に照らして、本時で意図的に支援を行う児童を設定し、どのようなことに配慮したり、どのようなよさを取り上げたりするのかを述べる。
 - (6) 板書計画 児童が考え方・感じ方の違いを対比的・構造的に考えられる工夫や、自分との関わりで道徳的価値に関わる事象について考えられるような工夫を行う。